

●ロシア(極東)

2019年前半のロシア経済

2019年第1四半期のロシアの国内総生産(GDP)は24兆4871億ルーブルとなり、対前年同期比で0.5%増の成長を記録した(2019年6月18日発表値)。GDP成長率は前年同期の1.9%増から低下しているが、2016年第2四半期以降、12四半期の間、プラス成長が持続している。

2019年第2四半期については、速報値(2019年8月12日発表値)によると、0.9%増の成長率となり、やはり前年同期の2.2%増から低下している(上半期で0.7%増、前年同期は1.6%増)。経済発展省も、第2四半期と上半期の成長率をそれぞれ0.8%増および0.9%増と低く見積もっている(2019年8月12日発表値)。また、ロシア中央銀行は、2019年第2四半期のGDP成長率を0.9%増、第3四半期の成長率を0.8-1.3%増と予測している。

2019年8月26日に開かれた経済問題に関する閣僚会議の場で、プーチン大統領は、ロシア経済が堅調かつ高い成長率を達成しなければならないと述べ、とりわけ実質所得の伸びの鈍さを問題視している。

2019年前半の極東経済

2019年上半年において、極東連邦管区(=極東)の鉱工業生産の増加率は5.3%増となり、ロシア全体の2.6%増を上

回った。この増加率は、中央連邦管区の7.4%増に次いで高い数値である。

部門別に見ると、極東の採掘部門の生産の増加率は2019年の最初の2カ月に低下したが、その後はロシア全体を上回り6.4%増となった(ロシア全体は4.0%増)。採掘部門の生産は、北カフカス連邦管区を除く地域で好調であり、特に、金属採掘が対前年同期比で30.6%増と大きく増えた。製造業部門においても極東の増加率は高く(4.1%増)、ロシア全体(1.9%増)を上回った。これも中央連邦管区(8.3%増)について高い。特に高い増加率が見られたのが、ブリヤート共和国(21.7%増)、サハ共和国(ヤクーチア)(19.2%増)、チュコト自治管区(15.5%増)である。他の部門の生産増加率は、水供給業、下水処理並びに廃棄物管理及び浄化活動において、ロシア全体では1.5%増、極東では5.0%増、電気、ガス、蒸気及び空調供給業において、それぞれ0.0%増と0.3%減となった。

生産面の好調な動きとは対照的に、極東の投資状況は2019年に入って大幅に悪化している。2019年上半年において、極東の固定資本投資増加率は、ロシア全体の0.6%増を下回る2.6%減となった。特に大きな影響を与えた地域であるのは、極東の固定資本投資の約3割を占めているサハ共和国(ヤクーチア)(20.2%減)である。サハ共和国では、固定資本投資の

68.6%(2019年上半年)は石油・ガス採掘部門に集中し、その対前年同期比増加率は4.5%増となった。しかし、固定資本投資の16.1%を占める輸送・倉庫業への投資が60.6%減と大幅に縮小したのである。特に、パイプラインへの投資の縮小(63.8%減)が顕著であった。

家計部門の状況は、ロシア全体の動向と大きく異なることはない。2019年上半年の小売販売額の増減率は、極東において2.2%増であり、ロシアの1.7%増を上回っている。家計消費の成長は鈍化する傾向にある。消費者物価指数は、ロシアと極東においてともに2.5%であった。実質貨幣所得の増加率は、ロシア全体では0.4%減であったのに対して、極東では1.6%増となった。

極東における「経済成長の中心」の社会的発展

2018年3月14日付第254号政府決定に基づき、「経済成長の中心」(tsentr ekonomicheskogo razvitiia)の社会的発展によって、地域経済を開発する政策が実施されている。「経済成長の中心」とは、投資や資本を呼び込む拠点となる場所である。このような場所において、保育園、病院、スポーツ施設、文化施設、公園といった社会文化施設を新設・改修し、快適な生活を送るために必要な前提条件を整え、生活の質を改善することが重要視さ

れている。極東には、「先行社会経済発展区」や「ウラジオストク自由港」を含め、この「中心」が58カ所あり、その発展に向け

て「統一補助金」と呼ばれる国家支援が3カ年で合計953億ルーブル投入される予定である。この政策、有効性について、今

後注視していく必要があるだろう。

ERINA 調査研究部研究主任
志田仁完

鉱工業生産高増減率(前年同期比%)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	17-1-3月	17-1-6月	18-1-3月	18-1-6月	19-1-3月	19-1-6月
ロシア連邦	0.4	1.7	▲ 0.8	2.2	2.1	2.9	2.9	3.7	2.8	3.0	2.1	2.6
極東連邦管区	3.3	6.7	5.5	2.3	2.2	4.4	0.2	3.2	2.4	1.1	3.2	5.3
サハ共和国	6.2	4.9	3.9	2.0	1.5	8.5	1.8	2.7	8.8	5.6	4.8	11.5
カムチャツカ地方	▲ 2.9	4.4	3.5	13.3	2.8	6.7	▲ 2.3	1.8	▲ 1.7	▲ 1.5	0.3	▲ 1.5
沿海地方	4.4	7.1	▲ 8.9	▲ 1.2	16.7	▲ 2.1	1.5	2.8	13.3	10.5	▲ 10.8	5.6
ハバロフスク地方	2.2	2.5	2.7	1.1	20.0	▲ 0.5	▲ 0.6	5.5	9.0	▲ 1.9	▲ 5.5	▲ 1.0
アムール州	6.9	▲ 1.7	▲ 3.1	▲ 10.2	1.9	▲ 3.7	2.0	4.3	1.7	▲ 2.9	▲ 2.7	3.5
マガダン州	3.0	9.0	7.2	0.4	6.4	7.0	4.4	14.8	6.0	7.9	36.3	19.2
サハリン州	▲ 0.5	6.1	13.1	6.3	0.2	6.8	3.2	3.6	▲ 0.2	▲ 1.3	5.5	3.0
ユダヤ自治州	2.6	13.3	▲ 7.9	▲ 7.5	41.9	▲ 1.2	32.4	39.6	21.9	13.9	▲ 11.4	▲ 5.4
チュコト自治管区	16.6	38.5	2.7	▲ 6.7	▲ 8.3	1.1	▲ 9.3	▲ 7.8	▲ 0.5	▲ 3.6	4.1	3.0
ブリヤート共和国	14.9	2.9	2.2	▲ 13.7	▲ 7.8	3.1	▲ 39.6	▲ 26.4	13.0	19.5	12.3	11.3
ザバイカル地方	7.5	4.6	▲ 1.9	3.8	0.2	2.6	2.4	▲ 1.3	▲ 0.9	0.9	0.4	2.8

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2018年7月26日)：ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2018年7月24日、2019年8月19日)
(注)2014年以前の年次データは全ロシア経済活動分類(OKVED)・第1.1版(UISISデータ)、2015年以降の年次データは第2版：ウェブサイト最新値、四半期データはOKVED・第2版(2019年8月19日改訂値)による数値である。2018年までの極東連邦管区の数値は、ブリヤート共和国およびバイカル地方を除く9地域の集計値であり、2019年1～6月の数値は両地域を含む11連邦構成主体の集計値である。

固定資本投資増減率(前年同期比%)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	17-1-3月	17-1-6月	18-1-3月	18-1-6月	19-1-3月	19-1-6月
ロシア連邦	0.8	▲ 1.5	▲ 10.1	▲ 0.2	4.8	4.3	2.3	4.8	3.6	3.2	0.5	0.6
極東連邦管区	▲ 16.8	▲ 6.6	▲ 1.1	▲ 1.2	10.8	2.6	10.2	19.8	11.5	5.2	▲ 5.7	▲ 2.6
サハ共和国	▲ 9.8	▲ 8.2	▲ 0.6	29.0	36.0	1.9	49.5	60.1	24.5	15.6	▲ 11.1	▲ 20.2
カムチャツカ地方	▲ 9.8	▲ 30.6	▲ 19.5	48.5	3.0	▲ 7.8	3.2	13.0	13.2	▲ 7.9	▲ 6.9	6.0
沿海地方	▲ 40.4	6.8	▲ 5.6	▲ 12.6	▲ 1.4	1.7	39.5	13.6	▲ 19.4	4.1	5.1	▲ 1.9
ハバロフスク地方	▲ 19.3	▲ 16.8	▲ 21.7	▲ 2.1	▲ 1.5	2.4	10.0	16.2	9.2	7.9	▲ 1.8	0.9
アムール州	▲ 14.4	▲ 27.6	28.9	15.5	40.9	10.1	12.7	47.2	4.0	2.6	23.9	20.2
マガダン州	19.7	0.0	33.1	▲ 34.3	4.0	14.3	3.0	20.2	2.2倍	2.1倍	▲ 52.1	▲ 52.1
サハリン州	1.7	13.7	▲ 4.4	▲ 21.4	▲ 17.1	▲ 0.3	▲ 25.9	▲ 25.6	▲ 0.2	▲ 23.4	▲ 15.1	16.6
ユダヤ自治州	▲ 40.2	▲ 29.5	12.9	1.3	▲ 21.6	40.9	▲ 22.8	▲ 12.8	1.0	7.3	1.5倍	41.1
チュコト自治管区	▲ 33.7	▲ 35.9	56.2	▲ 17.2	▲ 0.1	17.6	▲ 17.2	3.2	81.8	32.9	▲ 2.7	60.7
ブリヤート共和国	▲ 4.0	▲ 15.2	▲ 9.7	▲ 15.2	21.0	7.3	34.7	63.3	▲ 30.4	▲ 31.1	4.5	49.4
ザバイカル地方	▲ 19.3	14.9	3.5	6.5	5.9	▲ 11.4	▲ 28.3	▲ 6.3	2.3	▲ 16.4	▲ 14.6	▲ 9.1

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2018年12月28日)：ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2019年3月18日)；『ロシアの社会経済情勢(2017年4月、7月、10月；2018年4月、7月、10月；2019年4月、7月)』
(注)2018年の数値は、ブリヤート共和国およびバイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値。

小売販売額増減率(前年同期比%)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	17-1-3月	17-1-6月	18-1-3月	18-1-6月	19-1-3月	19-1-6月
ロシア連邦	3.9	2.7	▲ 10.0	▲ 4.8	1.3	2.8	▲ 1.8	▲ 0.5	2.2	2.6	1.8	1.7
極東連邦管区	5.7	5.1	▲ 1.5	▲ 2.3	2.0	3.3	0.1	1.4	1.4	2.0	2.1	2.2
サハ共和国	4.5	8.9	2.1	▲ 0.6	0.1	5.2	▲ 0.4	▲ 0.4	0.8	0.7	3.3	3.2
カムチャツカ地方	0.1	0.2	▲ 4.7	▲ 4.3	0.5	3.2	▲ 2.9	▲ 0.6	3.8	2.8	1.7	2.4
沿海地方	9.4	7.1	2.5	▲ 3.3	3.2	5.9	▲ 0.3	4.9	0.2	1.3	2.0	2.5
ハバロフスク地方	6.5	5.1	▲ 4.7	▲ 0.3	2.7	2.3	1.0	2.2	0.8	2.5	2.2	2.0
アムール州	5.4	3.7	▲ 5.0	▲ 3.3	2.2	2.8	▲ 3.1	▲ 0.8	2.9	2.0	2.6	2.7
マガダン州	9.0	4.6	▲ 7.8	0.0	0.4	1.5	▲ 0.5	▲ 4.0	0.6	0.5	3.0	2.3
サハリン州	1.8	0.7	▲ 3.9	▲ 4.2	1.0	2.9	5.4	▲ 1.8	3.3	3.8	2.5	3.1
ユダヤ自治州	1.4	▲ 1.5	▲ 3.2	▲ 8.4	▲ 1.7	4.0	▲ 4.8	▲ 5.4	3.8	5.4	3.0	2.7
チュコト自治管区	▲ 9.6	▲ 9.5	5.0	5.1	6.9	1.5	0.0	1.2	1.7	▲ 2.4	▲ 0.1	0.1
ブリヤート共和国	7.0	▲ 1.8	1.7	▲ 3.0	▲ 1.0	0.2	▲ 7.6	▲ 2.0	0.5	▲ 0.4	0.1	0.1
ザバイカル地方	2.2	▲ 0.4	▲ 9.1	▲ 2.6	▲ 0.3	1.2	▲ 2.1	▲ 1.5	0.8	0.7	2.0	1.7

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2019年8月16日)：ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2019年4月16日)；『ロシアの社会経済情勢(2017年3月、6月、9月；2018年3月、6月、9月；2019年)』(ロシア連邦国家統計庁)
(注)2018年および2019年1～6月の数値は、ブリヤート共和国およびバイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値。

消費者物価上昇率(前年12月比%)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	17-1-3月	17-1-6月	18-1-3月	18-1-6月	19-1-3月	19-1-6月
ロシア連邦	6.5	11.4	12.9	5.4	2.5	4.3	1.0	2.3	0.8	2.1	1.8	2.5
極東連邦管区	6.6	10.7	12.0	5.4	2.1	3.8	0.8	1.0	0.7	1.5	1.7	2.5
サハ共和国	6.0	10.3	10.5	6.0	4.4	2.7	1.6	2.3	▲0.0	1.3	1.6	2.7
カムチャツカ地方	6.3	7.8	12.6	5.7	2.1	3.4	0.9	1.4	0.8	1.5	1.6	2.0
沿海地方	6.3	12.0	11.9	4.8	1.8	4.2	0.8	0.6	0.8	1.3	1.4	1.9
ハバロフスク地方	6.3	11.8	13.1	6.1	2.6	4.0	0.8	1.1	1.0	2.0	2.2	2.8
アムール州	7.7	10.5	12.8	5.0	1.7	4.6	0.8	0.8	1.1	1.6	1.8	2.7
マガダン州	9.0	7.8	13.1	3.7	3.1	4.7	1.5	2.4	0.3	0.9	1.1	1.7
サハリン州	6.5	8.6	10.6	4.8	2.2	2.8	1.2	1.1	0.3	0.6	1.2	1.8
ユダヤ自治州	8.5	11.8	11.1	6.7	2.5	4.6	0.9	1.4	1.0	2.3	1.7	3.0
チュコト自治管区	5.2	4.0	11.1	5.9	2.8	4.9	3.1	2.8	1.5	3.6	4.2	3.2
ブリヤート共和国	7.5	11.8	10.7	4.2	2.1	5.0	0.8	1.4	1.0	2.1	2.2	3.2
ザバイカル地方	8.3	11.2	14.3	5.0	2.5	4.0	0.9	1.8	0.8	1.8	1.7	2.8

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2019年8月8日)に基づき作成

実質貨幣所得増減率(前年同期比%)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	17-1-3月	17-1-6月	18-1-3月	18-1-6月	19-1-3月	19-1-6月
ロシア連邦	4.8	▲0.8	▲3.6	▲4.5	▲0.7	1.1	0.0	▲1.1	3.7[1.8]	3.2[2.2]	▲2.0	▲0.4
極東連邦管区	6.2	2.6	▲2.0	▲4.8	▲0.8	3.0	▲1.4	▲1.7	▲1.1[▲2.6]	▲0.8[▲1.5]	▲0.6	1.6
サハ共和国	3.5	0.8	0.4	▲2.3	▲1.1	2.5	2.8	▲2.9	▲4[▲5.4]	1.7[1.0]	5.1	3.2
カムチャツカ地方	4.7	2.4	▲2.8	▲5.4	▲0.9	4.5	▲10.6	▲6.2	▲3.6[▲4.9]	▲3[▲3.7]	0.8	2.6
沿海地方	5.3	7.3	▲2.3	▲5.7	▲0.7	2.4	▲0.5	1.2	0.6[▲1.0]	▲2[▲2.8]	0.9	4.1
ハバロフスク地方	7.5	▲0.6	▲2.6	▲4.5	▲2.7	4.1	▲4.4	▲2.9	0.2[▲1.3]	0.8[0.1]	▲0.7	▲1.6
アムール州	4.4	1.9	▲3.9	▲7.9	0.5	2.7	3.2	2.3	▲0.3[▲2.1]	▲0.7[▲1.5]	▲1.7	0.8
マガダン州	4.5	▲0.5	▲2.7	▲6.1	1.8	6.1	▲1.1	▲3.6	▲10.3[▲11.5]	▲11.3[▲11.8]	▲1.9	4.2
サハリン州	14.0	3.3	1.6	▲2.5	▲1.4	1.1	▲2.5	▲6.1	▲2.6[▲3.7]	▲1.9[▲2.4]	3.3	6.4
ユダヤ自治州	1.5	▲2.3	▲6.4	▲10.8	▲3.4	▲3.6	▲9.5	▲7.7	1.1[▲1.2]	0.2[▲0.8]	▲3.7	0.9
チュコト自治管区	2.5	2.6	▲2.8	▲2.6	3.3	5.3	1.4	▲6.1	▲9.6[▲10.5]	▲6.5[▲6.9]	▲2.1	0.0
ブリヤート共和国	9.5	1.7	1.1	▲6.0	▲2.6	▲1.6	▲11.0	▲10.5	1.1[▲1.0]	0.6[▲0.5]	▲9.7	▲4.5
ザバイカル地方	4.8	▲4.6	▲4.8	▲6.7	▲1.8	1.5	▲0.8	▲2.8	▲2.5[▲4.5]	▲1.1[▲2.1]	▲2.2	1.9

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2018年12月24日)。月次データは『ロシアの社会経済情勢(2016年4月、7月、10月;2017年4月、7月、10月;2018年4月、7月、10月;2019年1月)』

(注)2016年11月22日付連邦法に従って2017年1月に年に受給者に支払われた臨時支払(5000ルーブル)を考慮しない場合の増減率であり、括弧内の数値はこの臨時支払を考慮した場合の増減率である。

平均月額名目賃金(ルーブル)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	17-1-3月	17-1-6月	18-1-3月	18-1-6月	19-1-3月	19-1-6月
ロシア連邦	29,792	32,495	34,030	36,709	39,167	43,724	36,664	38,675	40,691	42,555	43,944	46,210
極東連邦管区	37,579	40,876	43,164	45,786	48,952	51,667	46,090	48,156	49,952	52,714	51,357	54,274
サハ共和国	46,542	51,111	54,631	59,000	62,206	68,871	56,160	60,670	61,970	66,661	66,053	71,182
カムチャツカ地方	48,629	53,167	57,404	61,159	65,807	73,896	57,886	64,378	65,263	70,352	69,156	75,876
沿海地方	29,966	32,431	33,807	35,677	38,045	42,199	35,277	36,826	39,110	40,952	42,703	44,749
ハバロフスク地方	34,132	36,781	38,041	40,109	42,465	47,153	43,534	43,652	43,114	45,611	46,695	48,638
アムール州	30,542	32,397	32,902	33,837	37,368	42,315	34,135	35,642	38,917	40,330	43,367	45,414
マガダン州	57,121	62,152	65,996	69,769	75,710	85,631	64,638	70,627	77,433	82,471	81,250	89,470
サハリン州	49,007	54,896	61,311	64,959	68,496	77,499	68,534	68,322	71,703	73,470	82,434	84,166
ユダヤ自治州	27,358	29,439	30,896	32,165	34,409	39,242	31,840	33,534	36,256	37,664	39,193	41,049
チュコト自治管区	68,261	76,285	79,531	86,647	91,995	98,864	88,216	90,993	94,179	98,291	100,172	104,954
ブリヤート共和国	26,038	27,739	28,386	29,969	32,237	36,047	29,823	31,460	32,937	35,620	35,585	37,918
ザバイカル地方	27,279	29,319	30,931	32,654	34,848	40,740	31,804	33,584	36,150	38,157	39,679	41,869

(出所)年次データはロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2019年6月26日)。月次データは『ロシアの社会経済情勢(2017年4月、7月、10月;2018年4月、7月、10月;2019年4月、7月)』

(注)極東連邦管区の数値は、ブリヤート共和国とザバイカル地方を除く9連邦構成主体の集計値。